

ジュンサイ

Brasenia schreberi J.F.Gmel.
ジュンサイ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

池沼開発や水質の悪化等による生育環境の消失や悪化により減少している。

分 布

北海道～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

水質がやや酸性に偏り、ミスゴケがよく生え、底に有機物の堆積した古い池に生える多年草。根茎は泥中を横に這う。葉は水面に浮かぶ。葉は径5～10cm、裏面は紫色を帯びる。6～8月頃、径約2cmの花が水面で開く。花柄は長い。若芽は粘質物に被われている。

生育を脅かす要因

池沼開発や水質汚濁等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県自然保護課編（2004）
福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○	○				○		○		○	○	○

コウホネ

Nuphar japonica DC.
スイレン科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

河川、用水路の改修により減少がいちじるしい。

分 布

北海道（南西部）～九州に分布。県内では高浜町、小浜市、若狭町、敦賀市、越前町、あわら市、越前市、鯖江市、坂井市、福井市、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

浅い池沼、細流等に群生する抽水性の多年草。横走る地下茎は白く、根出葉を束生させる。葉は気中葉で長さ20～30cmの長楕円形で基部は矢尻形、水中葉と水上葉とが分化する。6～9月に根出した花柄が水上に伸び、黄色い5枚の萼片を持つ径4～5cmの花を開く。

生育を脅かす要因

河川改修、湿地開発、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○

ヒツジグサ

Nymphaea tetragona Georgi
スイレン科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

湿地の消失や、生育環境の悪化により減少している。

分 布

北海道～九州に分布。県内では美浜町、敦賀市、越前町、あわら市、越前市での記録がある。

種の特徴

水位の浅い池沼に群生する多年生の浮葉植物。地下茎は太く短い。葉は根生し、幅の広い矢尻形の水中葉と楕円形～卵円形の浮葉を広げる。花期は6～9月、8～15枚の白い花弁を持つ直径3～7cmの花を水面に開く。果実は水中で成熟する。

生育を脅かす要因

湿地開発、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○		○	○					○	○				